



## 【指数日足チャート】

### ▼ハンセン指数



### ▼上海総合指数



## 【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	20年末株価
NYダウ	34,935.47	-149.06	-0.42	-0.36	14.14	30,606.48
NASDAQ	14,672.68	-105.58	-0.71	-1.11	13.85	12,888.28
日経225	27,283.59	-498.83	-1.80	-0.96	-0.59	27,444.17
上海総合	3,397.36	-14.37	-0.42	-4.31	-2.18	3,473.07
滬深300 (CSI300)	4,811.17	-39.11	-0.81	-5.46	-7.68	5,211.29
ハンセン	25,961.03	-354.29	-1.35	-4.98	-4.66	27,231.13
中国企業	9,233.22	-182.47	-1.94	-6.16	-14.02	10,738.40

## 【株式概況】

### 先週の動き:ハンセン指数は5.0%安と大幅続落、上海総合指数は4.3%安

香港市場ではハンセン指数が週間で5.0%安と大幅続落。中国当局がネット企業や教育産業に対する統制を強めるなか、他の業界でも統制が強化されるとの懸念からリスク回避の売りが膨らんだ。29日は相場の安定化を図る証券当局や政府系メディアの動きが好感されたものの、30日は海外投資家の資金引き揚げへの警戒感から再び売りが強まった。本土市場では上海総合指数が週間で4.3%安と大幅に4週ぶりに反落。中国当局がネット企業や教育産業への統制を強化したことが嫌気され、リスク回避の売りが広がった。

### 今週の展望:香港市場はしっかりの展開か、パニック的な売りは収まる公算

香港市場はしっかりの展開か。先週は中国政府による企業への統制強化を嫌気して売り込まれたが、中国当局や政府系メディアが相場の安定化に動き出しており、パニック的な売りは収まりそうだ。一方、新型コロナの感染再拡大は懸念材料で、中国の貿易統計などの経済指標の発表を控えて景気の先行きに対して慎重な見方が広がる可能性がある。3日に発表予定のアリババ集団の四半期決算にも注目が集まりそうだ。本土市場も今週はしっかりの展開か。先週の下落が大きかっただけに短期的なリバウンドも期待される。

## 先週のハンセン騰落ランキング

### ▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 吉利汽車 (00175)	25.95	9.49
2 恒隆地産 (00101)	20.10	6.46
3 BYD (01211)	239.00	5.19
4 中国中信 (00267)	8.40	5.00
5 創科実業 (00669)	138.90	4.04
6 舜宇光学科技 (02382)	235.20	3.89
7 万洲国際 (00288)	6.44	2.38
8 中電控股 (00002)	80.20	2.23
9 電能実業 (00006)	50.20	2.03
10 申洲国際集団 (02313)	171.60	1.90

### ▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 海底撈国際 (06862)	29.20	-29.89
2 美团 (03690)	215.00	-21.30
3 華潤置地 (01109)	26.00	-17.33
4 龍湖集団 (00960)	36.25	-16.18
5 阿里健康 (00241)	12.08	-13.96
6 碧桂園服務 (06098)	63.05	-11.69
7 中国海外発展 (00688)	16.30	-11.51
8 バドワイザーAPAC (01876)	21.70	-10.33
9 サズ・ファイナ (01928)	26.55	-9.85
10 テンセント (00700)	479.00	-9.79

## ▼今週の主なイベント

- 8月2日(月) 【米国】ISM製造業景況指数(7月)
- 8月6日(金) 【米国】雇用統計(7月)
- 8月7日(土) 【中国】貿易統計(7月)

### ▼今週の期待材料

- ◆中国証券監督管理委員会が企業の上場先について柔軟な態度を示す、中国当局による統制懸念が和らぐ公算
- ◆中国証券監督管理委員会が投資銀行幹部を集めてオンライン会議、教育分野への規制強化は「的絞ったもの」
- ◆香港で1人5000HKドルのデジタル消費券の配布が正式に開始、消費活性化に期待高まる可能性も

### ▼今週の懸念

- ◆世界で新型コロナの感染が再拡大、デルタ株の流行で世界的な景気回復の遅れに警戒感が強まる可能性も
- ◆中国の7月の製造業PMIは前月比0.5ポイント低下の50.4、市場予想を下回る弱い結果に
- ◆2日から香港の株式取引に課す印紙税率を0.1%から0.13%に引き上げ、投資家の取引コスト上昇へ

## 【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 希慎興業 (00014) : 6月中間決算は黒字転換の見通し、不動産の評価損縮小が寄与
- ☆ SMIC (00981) : 5日に4-6月期決算を発表、市場予想は98%増益
- ☆ 小米集団 (01810) : IDC調査の4-6月のスマホ出荷台数で世界2位に浮上
- ☆ 紫金鉱業集団 (02899) : 6月中間決算は純利益2.7倍、価格上昇などで過去最高益
- ☆ 聯想控股 (03396) : 6月中間決算は景気改善や特損剥落で純利益4.7倍超の見通し
- ☆ 小鵬汽車 (09868) : 7月の納車台数が3.3倍の8040台、単月で過去最高を記録
- ★ 上海電気集団 (02727) : 鄭会長兼CEOの解任を発表、規律違反の疑いで当局が調査
- ★ 首創置業 (02868) : 6月中間決算は減益の見通し、不動産引き締め策などが影響
- ★ 新東方教育科技 (09901) : 四半期決算の発表を延期、政策転換への対応を検討
- ★ アリババ集団 (09988) : 3日に4-6月期決算を発表、市場予想は37%減益

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。